

與那原驛舎新聞

110周年記念イベント 駅前マルクト開催

11月30日～12月1日、沖縄県鉄道開業110周年を記念して、駅前マルクト等のイベントを開催しました。

30日は学芸員による展示解説を実施。11時、13時30分、16時の計3回、計32名の方が参加しました。

翌1日は駅前マルクトを実施しました。出店者はチュニチュニドーナツ、デコボコ(オムライス、クッキー)、グッ



シークレップ、Number 13(コーヒー、ソーダ)、弁当カフエmusubi(駅弁、おにぎり、からあげ)。大勢の方が来場して、15時頃には売り切れとなる店舗もありました。資料館の入館者も両日あわせて330人となり、新展示をご覧いただきました。そのほかにも謎解きシート(回答してシールをプレゼント)、缶バッジくじも実施しました。

2025
2 月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

時刻表シンポジウム開催

12月1日には与那原町役場の1階の町民ラウンジにて、「時刻表から見る沖縄県鉄道の歴史」がありました。司会は首里のすけさんで、JTB時刻表の編集長や鉄道ライター、与那原町長、そして資料館からも学芸員が登壇しました。それぞれの視点から時刻表や鉄道の運行について語り合いました。



当日の様子はYouTubeでもご覧いただけます。



JTBコラボグッズ プレゼント!

開業110周年を記念してJTB時刻表(JTBパブリッシング)さんと与那原町のコラボでグッズを配布します!ひとつはクリアファイルで、戦

駅舎コラム④

「県産品」の鉄道客車

沖縄県鉄道(県鉄)は多様な車両を保有していました。今回は、そのメーカーに注目したいと思います。県鉄で開業時に導入された蒸気機関車13号の3両は、ドイツのヘンシェル社製です。ほかにもイギリス製など欧州製の機関車を中心となっています。ガソリンで走るキハ11や21などは名古屋の日本車輛製造株式会社が製造したもので

す。日本車輛は現在では新幹線の車両も製造しています。外から車両を調達する一方、客車のハ41～45は、なんと県鉄自ら製造しています。那覇駅の修車庫で1から作っており、メーカー製と同様、立派な客車だったそう。鉄道客車としては、おそらく唯一の「県産品」だったことでしょうか。欧州や国内メーカーの車両に並んで「県産品」の客車が走ったのは、なんだか誇らしい気がします。(学芸員K/「広報よなばる」2月号コラム要約)



前の「JTB時刻表」に載る県鉄の時刻表などが掲載されています。もうひとつは記念切符で、実際の硬券を印刷する会社で作ってもらっています。グッズは1月25日(土)から資料館にて配布予定。公式SNSをフォローかアンケート回答で差し上げます。

与那原線ウォーク

現在、与那原線ウォークを企画中です。追って公式サイトにて告知しますので、ぜひご参加ください。

与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)のその与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師



公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>

